

しんけん
ちよと知っ得

新型コロナウイルス感染症に関する 人権侵害を防ぐために

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、感染した人やその家族、医療機関の関係者、特定の国の人、海外から帰国された人などに対する誹謗中傷や、根拠のない差別的な書込みがインターネット等で広がっています。

このような誤った情報が広がることは、感染が疑われる症状が出ても、相談や情報提供をためらってしまうなど、感染拡大防止を妨げることにもなりかねません。

誤った情報や不確かな情報に惑わされ、人を傷つけるような言動をすることはあってはならないことです。確かな情報に基づいて、人権に配慮した適切な行動をお願いします。

私たちが克服したい相手はウイルスです。
一日も早く安定した日常生活を取り戻すためにも、正しい理解を
深め差別のない社会を目指しましょう。

感染者を非難しない

感染は誰にでも起こる可能性があり、感染者は非難される対象ではなく、守られるべき存在です。「自分が感染したら…」と考えた時に、他の人からされたら嫌だと思ふ事は、他人にもしないという気持ちを持ちましょう。

感染者の出た職場や家族を非難しない

感染者だけでなく、その職場、家族などへの誹謗中傷や差別的な言動は、感染の表面化を遅らせ、感染拡大防止の妨げになることを認識しましょう。

風評被害を防ごう

感染していないにもかかわらず感染者だという噂を流され、本人のみならず、家族や勤務先が差別被害にあうという事例が見受けられます。新たな風評被害を生まないために、誤った情報や不確かな情報をむやみに拡散しないようにしましょう。

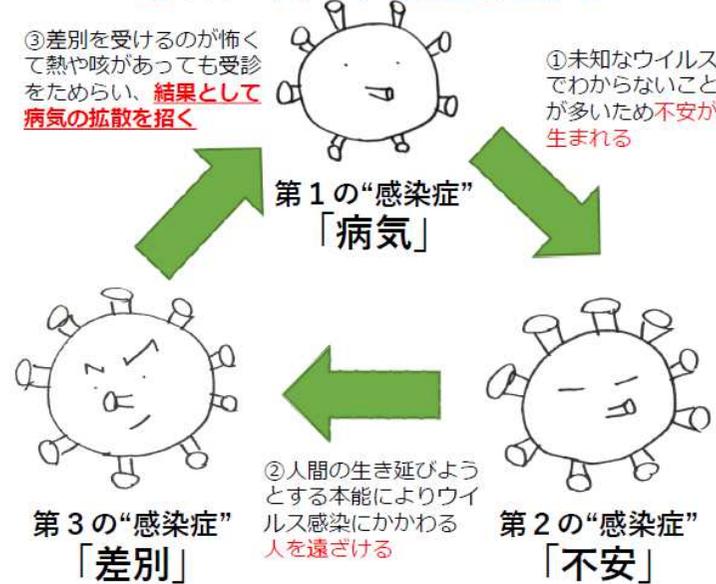
実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。
知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんにご存知ですか？



新型コロナウイルスによる感染が流行しています。

ねえ、知ってる？

負のスパイラルで“感染症”が広がる



3つの“感染症”は
どうつながっているの？

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるということです。

日本赤十字作成 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より抜粋(一部省略)

不安から、誰かを傷つけてしまうのも、
偏見や差別から誰かを守れるのも私たちです。